

令和7年度 京都府立大学 一般選抜試験（前期日程）
入学選抜学力検査 「国語」

○解答例

□一

問一 ①粹 ②駆 ③透 ④頻 ⑤掃 ⑥徹 ⑦寧 ⑧拘

問二 電話の、外部との境界という意味が希薄になった。

問三

I 「電話での会話を支える意識」

家の中で電話を受ける側の意識としては、「家から出て」いく方向のものというよりも、「家に招き入れる」という受容の意識の方が強い。

II 「回線上的場」

回線上的場は、外部空間として共有される場というよりも、家庭内部にありながら、現実空間を共有しない、制限された共有の場であった。

問四

電話においては、空間が共有されず、視覚が相互に切断されているために、他者は、音声による親密な近接が可能である一方で、現実の身体における身なり身ぶりといった社会性からは分断された存在となった。筆者は電話の家庭の内部への移動の背景には、こういった他者の存在の希薄化・断片化という事態があったと考えている。（150字）

□二

問一

ア このような川などがあるのでしょうか
イ そのままになってしまうだろう
ウ ああ、無意味なことだなあ

問二 A 顕昭 B 長明

問三

- (1) 顕昭の、川の存在を疑ったものの、歌の姿がよかったことから、非難することを経験的に自重したこと。
(2) 川の名が賀茂川の異名として賀茂社の縁起にあると知らずに非難し、恥をかくことにならずに済んだ。

問四

筆者が他に先駆けて「石川」「瀬見の小川」を詠んだこの歌は、祐兼の言うように人知れず埋もれてしまうかに思われたが、新古今集に撰ばれ、晴れて著者の事績として認められるところとなったため。

三

問一 ①にわかに ②なかれ(と) ③たえず ④なんじ

問二

- A ひとのあえてちかづくものなし
C まさにおうごんごりようをもつてしやすべし(と)

問三

あなたはおそれる必要はない

問四

母子ともに安全にお産をさせてくれたなら黄金五両を謝金としようと言った約束を守るため。